

平成30年11月5日

上場会社名 清水建設株式会社

上場取引所 東名

コード番号 1803 URL <https://www.shimz.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 充穂

TEL 03- 3561- 1111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月6日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	729,675	6.5	49,306	1.4	51,946	1.3	36,561	4.4
30年3月期第2四半期	685,066	3.8	49,994	3.4	52,604	1.7	38,256	9.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 52,955百万円 (4.7%) 30年3月期第2四半期 50,564百万円 (486.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	46.60	46.59
30年3月期第2四半期	48.76	48.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,773,384	696,684	39.0
30年3月期	1,780,943	656,330	36.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 691,306百万円 30年3月期 650,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		16.00	26.00
31年3月期		13.00			
31年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の中間配当金には、特別配当3円、期末配当金には、特別配当9円が含まれています。

平成31年3月期の中間配当金及び平成31年3月期(予想)の期末配当金には、それぞれ特別配当6円が含まれています。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,790,000	17.8	123,000	1.3	126,000	1.5	91,000	7.1	115.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	788,514,613 株	30年3月期	788,514,613 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	3,962,752 株	30年3月期	3,961,103 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	784,552,544 株	30年3月期2Q	784,559,003 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期の日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、設備投資は増加基調をたどり、個人消費も底堅さを維持するなど、緩やかな回復傾向が続きました。

建設業界においては、民間建設投資は製造業を中心として堅調に推移しましたが、官公庁工事で前年同期に大型案件の受注があった反動がみられ、業界全体の受注高は前年同期をやや下回る水準で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高の増加から、前年同期に比べ6.5%増加し7,296億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益は増加したものの、開発物件の売却利益の減少に伴い開発事業等総利益が減少したことなどから、営業利益は前年同期に比べ1.4%減少し493億円、経常利益は1.3%減少し519億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4.4%減少し365億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、有形固定資産の増加や、株式相場の上昇に伴う投資有価証券の増加があったものの、現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）の減少などにより、前期末に比べ75億円減少し1兆7,733億円となりました。

負債の部は、未成工事受入金は増加したものの、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ479億円減少し1兆766億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は3,282億円となり、前期末に比べ99億円の減少となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加に加え、株式相場の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末に比べ403億円増加し6,966億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ2.5ポイント増加し39.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当第2四半期連結累計期間の業績が通期の予想に対し順調に推移しており、当社グループを取り巻く景況感も概ね想定範囲内であることから、現時点では平成30年8月9日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	196,158	131,556
受取手形・完成工事未収入金等	503,380	500,360
有価証券	145,150	141,000
販売用不動産	19,228	24,061
未成工事支出金	77,779	97,781
開発事業支出金	26,502	16,935
PFI事業等たな卸資産	47,969	48,045
その他	89,275	100,991
貸倒引当金	△867	△820
流動資産合計	1,104,578	1,059,912
固定資産		
有形固定資産	265,790	277,873
無形固定資産	6,081	6,672
投資その他の資産		
投資有価証券	387,102	409,278
その他	19,457	21,691
貸倒引当金	△2,067	△2,044
投資その他の資産合計	404,492	428,925
固定資産合計	676,365	713,471
資産合計	1,780,943	1,773,384
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	377,469	275,907
短期借入金	130,381	132,343
1年内返済予定のノンリコース借入金	6,472	6,488
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内償還予定のノンリコース社債	879	879
未払法人税等	20,897	19,418
未成工事受入金	113,053	174,571
完成工事補償引当金	2,887	2,990
工事損失引当金	11,378	7,805
独占禁止法関連損失引当金	2,000	2,000
その他	138,879	138,031
流動負債合計	814,299	780,438
固定負債		
社債	60,000	50,000
転換社債型新株予約権付社債	30,076	30,061
ノンリコース社債	14,060	13,620
長期借入金	51,673	43,405
ノンリコース借入金	34,722	31,473
退職給付に係る負債	57,385	56,972
その他	62,397	70,728
固定負債合計	310,314	296,261
負債合計	1,124,613	1,076,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,116	43,116
利益剰余金	366,805	390,792
自己株式	△1,606	△1,608
株主資本合計	482,680	506,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,282	165,977
繰延ヘッジ損益	△264	50
土地再評価差額金	25,984	25,984
為替換算調整勘定	△937	△2,110
退職給付に係る調整累計額	△5,893	△5,261
その他の包括利益累計額合計	168,171	184,641
非支配株主持分	5,478	5,377
純資産合計	656,330	696,684
負債純資産合計	1,780,943	1,773,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高		
完成工事高	601,491	655,574
開発事業等売上高	83,574	74,101
売上高合計	685,066	729,675
売上原価		
完成工事原価	523,854	575,087
開発事業等売上原価	73,028	65,105
売上原価合計	596,882	640,193
売上総利益		
完成工事総利益	77,637	80,486
開発事業等総利益	10,546	8,995
売上総利益合計	88,183	89,482
販売費及び一般管理費	38,188	40,175
営業利益	49,994	49,306
営業外収益		
受取利息	489	601
受取配当金	2,772	2,993
その他	1,434	791
営業外収益合計	4,696	4,386
営業外費用		
支払利息	1,272	1,194
その他	814	552
営業外費用合計	2,086	1,746
経常利益	52,604	51,946
特別利益		
固定資産売却益	6,152	3,224
特別利益合計	6,152	3,224
特別損失		
固定資産売却損	2	15
特別損失合計	2	15
税金等調整前四半期純利益	58,755	55,155
法人税等	20,504	18,557
四半期純利益	38,250	36,598
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,256	36,561

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	38,250	36,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,329	16,682
繰延ヘッジ損益	13	242
為替換算調整勘定	△772	△1,286
退職給付に係る調整額	809	616
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	101
その他の包括利益合計	12,313	16,357
四半期包括利益	50,564	52,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,542	53,030
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△75

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	58,755	55,155
減価償却費	5,861	6,395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△135	△61
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△627	△3,565
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	538	496
固定資産売却損益(△は益)	△100	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,050	△3,219
受取利息及び受取配当金	△3,262	△3,595
支払利息	1,272	1,194
売上債権の増減額(△は増加)	63,232	2,699
販売用不動産の増減額(△は増加)	18,462	△4,838
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△23,827	△20,088
開発事業支出金の増減額(△は増加)	△2,451	9,566
PFI事業等たな御資産の増減額(△は増加)	1,990	△76
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,277	△100,141
未成工事受入金の増減額(△は減少)	7,799	61,919
その他	△41,099	△11,494
小計	21,079	△9,643
利息及び配当金の受取額	3,656	4,121
利息の支払額	△1,278	△1,202
法人税等の支払額	△19,720	△19,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,738	△26,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,928	△18,737
有形固定資産の売却による収入	198	19
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,681	△570
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	8,324	5,106
その他	△581	△3,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,667	△17,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3	2,723
長期借入れによる収入	4,699	550
長期借入金の返済による支出	△11,573	△10,039
ノンリコース借入れによる収入	5,052	—
ノンリコース借入金の返済による支出	△4,167	△3,232
社債の発行による収入	10,000	—
ノンリコース社債の償還による支出	△219	△439
配当金の支払額	△16,503	△12,574
その他	△139	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,848	△23,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△693	△1,194
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,470	△68,602
現金及び現金同等物の期首残高	315,803	341,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	299,332	272,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表についても、当該会計基準等を遡って適用しており、その結果、前連結会計年度の資産合計及び負債合計は15,398百万円減少し、自己資本比率は0.3ポイント増加しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	533,915	16,773	134,377	685,066	—	685,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,934	7,971	74,989	88,894	△88,894	—
計	539,849	24,744	209,366	773,961	△88,894	685,066
セグメント利益(注1)	40,929	6,814	5,900	53,645	△3,650	49,994

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業や子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額△3,650百万円は、セグメント間取引消去等です。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	590,447	8,668	130,559	729,675	—	729,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,313	58	93,289	108,661	△108,661	—
計	605,760	8,727	223,849	838,337	△108,661	729,675
セグメント利益(注1)	50,124	2,979	6,864	59,968	△10,662	49,306

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業※及び子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額△10,662百万円は、セグメント間取引消去等です。

※LCV(Life Cycle Valuation)事業:施設・インフラのライフサイクルにわたり、その価値を最大化するためにレベルの高い技術やサービスを提供することをコンセプトとする事業

以 上